（木曜日）第1677号　昭和26年11月8日　いわき民報　昭和24年2月23日 運輸省特別扱承認第238号　昭和21年6月1日 第三種郵便物認可　日刊（除月曜）

夕刊 いわき民報
発行所 平市田町 電381 1222
いわき民報社
編集兼印刷人 田原 登
発行兼副

政府第10回 短期賞くじ発売
宝くじ
11月10日までの タツタ10日間
3等1万円でも 160本〃
3本に1本の当りくじ
日本勧業銀行平支店

賃上げ闘争妥結

一割一三割四分方上る

夜半に労使仮調印

スト即時解除

鑛炭労争議は六日午後二時半から行つた第十六回団交において両組織のあゆみ寄りが実現七日午前一時に至り遂に次の線に各ランク別毎に妥結、東部鉱連小島専務理事と鑛炭労大河原斗争委員長との間に仮調印を行つた、要求提出以来（九月六日）六十八日目、仮調印したのは各ランク別炭鉱名とその基準賃金に就いてだけで細部問題は今後引続き協議決定するが正式調印は組合側では中斗の承認の上早急に行われる模様、鑛炭労はスト突入労組に対し即時スト解除指令を発し七日一番方から平常作業に返つたのストによる減炭は約一万六千トンとみられスト参加労組二十六、三十三炭鉱、延スト人員三万五千五百名

賃上げ内容

この日傍聴者約一名、東部石炭協労の大会議室は両組織の交渉団も百名から詰めかけた、六時半より最終妥協案に就き討論、八時半まで休憩各ランク別（分科会）の協議に移り七時半前一時に至り妥結に至つたがこれによると当初鑛炭労の要求したAコンクは常磐の場合（特Aだが）現石（坑内夫四六二円坑外夫二六八円）より坑内夫八十八円坑外夫十三円の値上げで据置の八割値上要求に対し平均二割、Bランクに現行（坑内夫三六三円坑外夫二一六円）に対し坑内夫七七円坑外夫六十九円と平均三割四分となり、常磐では八割値上要求から例い、基準外（二割五分）を差引いた六百十円が最低六百円（坑内夫）に落着くものとみていたもの今度の交渉は大手筋より中小炭鉱に利幅が多かつたもの

仮調印文書の内容

仮調印文書の内容次の通り
▼鉱連と鑛炭労とは昭和二十六年十月以降賃金に関し左記の通り協定した
❶基準賃金（家族手当を含む、一方当り稼込額）▼特A（常磐鑛）坑内夫五五〇円坑外夫（成人男子）三四〇円▼A（常磐、茨城、関本、隅田川）坑内夫五三〇円坑外夫三二〇円▼Aタソシ（山口、豊浦）坑内夫五〇〇円坑外夫三〇三円▼B（宮内、合同、杉本、水野、須藤、上田倹、石川、東、久之浜、浅倉、本戸、東亜）坑内夫四七〇円坑外夫二八五円▼Bタソシ（山一大昭二坑、品川赤井、柿ノ沢）坑内夫四四七円坑外夫二七一円▼例外（成沢、小塙）成沢は両組織で別途協議する、小塙坑内夫三七六円坑外夫二三八円、なお東亜炭鉱はBランクに入れる様連盟で努力する
❷女子及十八才未満の坑外夫の賃金額はその労働の質と量とを勘案し坑外成人男子との均衡において各山毎に協議決定する
❸家族手当は扶養家族一人に付き月額四百円とする
❹その他の事項は引続き団交で決定する

斎藤次長榮轉

十三日赴任

勧銀平支店次長斎藤達雄氏は福島支店次長に栄転、十三日午前八時廿五分発で赴任する、後任は山形支店枝松喜二郎氏

四倉の舗装近く着工

原田志津線道路も

四倉町では来る十五日工費百四十万円で原田志津線延長千百米幅八米道路工事を来春完成予定で着工する、また元町から役場前に至る百六十五米コンクリート舗装道路工事は近く着工する予定であり海気館まで延長二千米二十七年度中に着工する

盗犯特別捜査班を編成

市署百%検挙へ全力

五日から十二月五日までの一カ月間全国一斉に展開される『未検挙盗犯特別捜査月間』に呼応し平市署では未検挙盗犯等特別捜査班を編成、宇佐見署長総指揮の下に本年度未検挙盗犯の一掃と期間中発生署犯の百%検挙を目指し第一歩を踏み出した、ちなみに戦後における検挙率を全国的に見ると七十%乃至七十五%を上下して居り戦前に比べて相当低下している実情で平市署の場合は平均七十%である、今度の捜査月間は毎年末に実施し記念し同町鎮守温泉神社境内に総工費十六万円で出羽湯殿山から分霊を頂き総御影石高さ十三尺の石碑を建立挙行、六日午前十時からこれが除幕式をあげた、尚同日碑文揮毫の佐波百温泉神社宮司の恩師三山神社菅木仁盛宮司が来湯祭儀を執行した（写真は献納の石碑と甲斐が横山氏）

内郷委長会

内郷町常任委員長会は六日午前九時から開き追加更正予算（既定予算八千四百九十八万八千五百円）に就き協議、総工費二千万円を計上、来る十六、七、八の三日間開かれる定例町会に上程することになり正午閉会した

待望の菊多劇場完成

十五六日市川一座招き舞台開き

三浦壱四郎の諸氏、六日午後五時より全町民待望の植田町常設館菊多劇場は今春来鋸町商木組に依つて請負着工されていたが、此の程全く竣工成り来る十五日竣工落成式を兼ね盛大に舞台開きを行う事になつた、晴れの舞台開きには松竹専属の市川門三郎一行で同座には市川秀猿、市川猿一郎、其の他花形五十余名で十五、十六の両日に亘つて展夜二回公開一幕合には新設の傑秀トーキ装置を映写する、尚新築費は約八百万円で合資組織で社長には赤津馬次郎、外下山出健透、神淵奨、矢渡昔吉、川面寿八郎赤津鉄三郎、齋藤一、関根忍、

併合審理の申請を却下

次回は来月

六日開かれた平事件統一派甲組公判午後は一時三十七分再開、午前に引続いて起訴状の認否が行われた、鈴木（孝）佐藤（輝）被告は『起訴状は全く デタラメだ』と否認二時四十分一たん休廷、三時十分再開、柳沢被告が否認、ながなと教示指導主義を非難するや高橋主任検事は『◇内郷町御厩小校では十日午前九時から児童会対抗野球庭球排球大会を開催する
◇内郷一中では五日六日の両日二十四学級対抗壁新聞コンクールを開催学級毎に展示一般に公開した
◇小名浜水産高校では十日午前九時半から第二中グランドで始めての体育祭を行う

廿二万圓の横領容疑

四倉農協専務を逮捕

平地区管内町農協組合長新妻常吉氏の家宅を捜索、書類帳簿などを押収すると共に同専務理事佐藤喜義（五）を背任容疑で逮捕身柄を留置した

佐藤は去る八月ごろ政府から交付された二十五年度産米の追加代金二十二万六千円を供出者に支払わず他に転用した疑いによるもので、同人はこの金を貯金に払戻し利用したといつている（写真は佐藤専務理事）

宿泊中盗難

被害四萬圓

六日夜十二時ごろ茨城県多賀郡多賀町河原字千石八一七日立製作多賀工場社員佐谷勝宗さん（四）ほか四名は湯本町三函二〇八古滝旅館に宿泊中現金三万円その他腕時計レインコート、ワイシャツ等七点（時価一万円相当）を盗まれた

子牛二頭盗まる

小名浜町字なぎさ一漁業伊藤房儀さん（五）方では三十日午前一時ごろ牡牛二頭（二万円相当）を盗まれた

少年盗む

勿来町勿来中学二年鎌田某（一四）外二名は四日午前十時半ごろ勿来町窪田呉羽化学工場前のレールボンド四本（千五百円相当）を盗み現行犯で平鉄道公安員に捕まつた

畑を荒す

山田村上山田居住の大塚某（七）坂本某（一三）瓶一（三）佐藤光雄（二）外一名は共謀し去る九月十一日山田村字上山田秋山又七氏所有の畑から甘藷五貫匁（時価三五〇円）とアドワ数貫目を窃取し姿をくらましていたが此の度植田署に捕まつて送検

鶏泥

内郷町綴無職沼田郁郎（三）は去る十月十九日夜同町古物商原田豊次さん方から鶏四羽二千円相当を盗んだ嫌いで五日内郷地区署へ

天気予報

七日【今晩】北東の風降つたりやんだりの天気
【明日】北西の風一時やゝ強くはじめのうちまた小雨残つている処もあるが次第に晴れる、海上は北東の風やゝ強くなり明日午後より次第に波立ち明日一ぱいはシケ気味故漁船は注意

出人村熊田、三和炭鉱労組（一六〇名）では六日、鑛炭労に対し加盟脱退届を提出した、理由は今度のスト争議により生産阻害にあい経営確立が遂成されないというものですでに会社側では現行賃金内夫三百六十三円、坑外夫二百十六円に対し物価手当て増額坑内夫四百二十円（坑内直接夫二十二方で千百円、間接夫二十三方で七百円）坑外夫二百六十円（二十四方で五百円）を十月から（一月迄）支給すると協定なり両組織とも今度のスト争議には委任状を出していなかつたもの

ストは生産を阻害

三和炭鑛 炭労を脱退

湯殿山の石碑奉納

年少者取扱指導會開く

平労基署では管内の炭鉱主を集め九日午前九時から平市労働会館で炭鉱に於ける女子年少者の取扱についての指導会を開く予定

改正郵便料金

郵政省では十一月一日から全面的に郵便料金の改正を実施した、おもなるもの次の通り
◇通常郵便物▼一種 籠書した物状封かんしたもの二十匁ごとに十円▼二種 通常はがき五円往復はがき十円小包はがき六円▼三種 一般から差出すもの百匁ごとに四円日刊新聞紙で発行人等から差出すもの百匁ごとに二円▼四種 通信教育用百匁ごとに四円▼六種 点字用点字一匁ごとに一円▼七種 種苗百匁ごとに三円▼八種 印刷物薬務用書類等の従前の第四種郵便物前記各種に該当しないもので開封したもの百匁ごとに八円市内特別郵便百匁まで五円▼速達料 通常二十五円小包四十円▼書留料 現金千円まで三十五円以上三千円まで三十五円増物品千円まで三十五円以上三千円までごとに一円増

發明展開く

十日から小名濱

平地方発明者同志会主催、小名浜町日本水素、県水産試験場後援の発明展覧会は来る十、十一の両日小名浜第二小学校講堂で開催される、一般入場無料で出品六十余点の中には日本水素会社作品の『燐酸肥料の製造法』仲木秀一さん（平）の『木船の害気殺虫法』石山忠蔵さん（平）の『宝かまど』など珍らしいものが陳列され展会が予想される

學校だより

◇中学校における職業、家庭科第二学期の実習は次の通り
▼職業科 農業（一）（二）（三）年男子 園芸（一）（二）（三）年男子 畜産（一）（二）（三）年男子 家庭科（一）（二）（三）年女子
▼家庭科 被服（一）（二）（三）年女子 保育（一）（二）（三）年女子

新鮮 鶏肉 兎肉
川魚と鶏肉
平市白銀町
長谷川商店
◇…牛兎商価賃入れます

誰でも気軽に喰べられる
江戸前壽し
丼類
和洋食
支那そば
食堂なしみ
電話一つで配達します 電話七二三
日本料理仕出し
平局裏南町通り

焼残り材料及鉄屑公売告
一、入札場所 平市高月 磐城高等学校
一、入札期日 昭和二十六年十一月十日十二時至午後二時
一、開札日時 同 十一月十日午後二時
一、入札物件 焼残り材料及鉄屑
昭和二十六年十一月五日
磐城高等學校

改装された 直龍軒
一階 理容室
一階 美容室
皆様の御来店をお待ちしております
平局横丁角

平より直通 バス開通
秋のハイキング キャンプに ゼヒ御利用下さい!!
◇…小名浜より 平より 湯本より 各地より大変便利になりました!!
▼平発 午前九時十分 午後三時十分
▼高野発 午前十時十分 午後四時十分
胃腸病 痔の名湯
高野鑛泉

治療延期のお知らせ
拾壱月三十日まで 午前八時より午後七時まで
場所 平市公園下 性源寺
観音ニン ニク温熱療法出張治療

月賦のデパート 絲
買物上手の 巻の虎
純毛優良背廣 オーバー展示會
現品先渡しの 綠屋の月賦
正しい値段の有名品を…
五カ月拂い
東京 綠屋平支店

日刊（除月曜）　定価1カ月金80円（週1回四頁）一部（二頁）3円（四頁）4円　（第三種郵便物認可）　いわき民報　昭和26年11月8日（木曜日）第1677号　（2）

麥秋と新舊平料藝組合

山田バンマロ

▼鉄の如く強じんな反共精神の持主として、吉田内閣に、大きくクローズアップされている人間大磯も、法務総裁の歓迎会が、去る三日夜八時半から、料亭谷口で催された勿論主賓が大磯さんだけに、盛宴が予想を裏切らなかったまでもない。

▼主催者側と、街の紳士諸公は、総裁を心から歓待するため、凡ゆる犠牲と努力を惜まず、芸妓に至るまで心をちぢに砕いたことは、市会議員鈴木映画翁が、自信を持ってすべよけれは私の方はと、あちらでさえよけれは私の方はと、小心市民的手法によるそゝとした良心的格調の盛られた芸術的映画を観て『小鹿物語』の洋画や、小津監督独特の、生きて行く以上、ホロリとした共感と人間らしい反省位は湧きそうなものであろうが。

▼市の発展と興隆を防げ、市民や外来の客にまで大きな迷惑と不自由をかけても尚且つ安価な感情と花界特有の『メンツ』にこだわって、小児病的抗争をいつまでも続けなければならぬ愚蒙と無智を、恥かしいとは思わないのだろうか『大川でケツを洗ったようなサバくじた気持』と云う古いたとえのある様に、物事を大乗的に、もつと大きくバラリと持って行ったなら、とんなに世の中がスムースに行けるだろうに。困つたものだ秋晴れの空のように、清朗な境地を。

（十一月四日稿）

磐高へ縣外からも義金

十万圓贈られ關係者感激

磐城災害復興資金募金運動に乗り出した磐女、平工、平商の生徒会（代表磐女三年猪狩敬子）では県内、近県の高校二百二十七校へ書状を送っていたが十月三十一日現在で五十七校、十万九百四十一円十二銭の義捐金を贈られ関係者を感激させている芳賀学校は左の通り

【宮城県】八戸水産千二百円　宮城市立女子高二千五百二十七円　鹽竈市立第一高二千四百円　八戸市立商高二千円　三戸高千百二円　弘前工業三百円　八戸市立第一高二千四百円　浪岡高千円

【岩手県】釜石高千九百円　花城高千円　黒沢尻高二千円　広田高千八百九十七円　松尾鉱山学園高校部二千円　山田高千百円　商松高三千円

【秋田県】横手実入野高三千五百六十六円五銭　鹿巣農林高三千九百五十四円　大曲農業五百円　船川水産二千円　小坂高千百六十二円五十銭

【山形県】山形商高千円　楯岡農業千円　山形工業千三百五十一円五十銭

【宮城県】第一女子高四千五百円　若柳高二千八百円　古川女子高二千八百二十一円四十七銭　石巻家政二千二百六十円　小牛田農林千円

【福島県】郡山工業二千八百九十三円八十銭

【茨城県】下妻第二高二千九百二十八円　水戸第二高二十五百四十八円五十銭　取手第一高五百円　龍ケ崎第一高五百円　土浦市立高五百円　日立第二高四千三百六十二円五十銭

【栃木県】足利女子高八百五円十銭　氏家高四千三百九十七円　宇都宮女子高八千七百三十一円　矢板高三千五百十円　太田原高八百円　栃木商業千六百六十三円　大田原女子高三百円　佐野高七千九百五十五円

花形の浚渫船

十日 四倉港で試運轉

県の陸搬式電動ポンプ浚渫船（五十トン）は愈よ来る十日四倉港にその巨体を現し試運転を行う、同船は既報の如く二百馬力で一時間砂利六十リユーベを浚渫する能力を持ち土木事業の花形として四倉港の浚渫が終れば江名、小名浜、松川浦の港湾で活躍する筈である

失保金不正受給で處分

平職安所では五日内郷町白水吉田晴雄(三)赤井村赤井字不動堂鈴木清勝(三)の両名を失保金不正受給者として無期限就労停止、不正受給金返還処分に附した、吉田は九月十四日から騒原精雄の偽名で就労しながら十七日分（四千八百円）の失保金を不正受給していたもの

また鈴木は八月四日から日置赤井炭鉱に就労する傍ら百三十日分（二万七百円）の失保金をもらっていたもの、尚同所管内十百名の失保金受給者の中約十二、三名が不正受給しているものと見ている

危險防止に解撤工場

—爆彈引揚げ再開以來一カ月—

取扱い狀況愼重な

火薬危害豫防週間

小名浜沖合の爆弾引揚は再開になつてから一カ月余になるが特に火薬の取扱には留意その点については完璧を期している、三日から始つた火薬危害予防週間に当つては爆弾引揚に伴う火薬の処理状況を見ると特にその感が深い一現在磐城引揚に従事している業者は釜山、呉、佐世保、横須賀、舞鶴、下関、博多、唐津、鹿児島、沖縄、台湾、仁川、済州島、上海、青島、大連、旅順、葫蘆島、仙崎、浦賀、清水、名古屋、四日市、大阪、和歌山、神戸、徳島、高松、松山、宇和島、別府、長崎、佐世保、熊本